様式３（2020.06改）

作成日　令和　２年　８月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201547
事業所名	グループホーム瀬部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	毎年11月には家族、職員が家庭の不用品を持ち寄ってバザーを開催しています。今では焼きそばを提供したり、スーパーボールなどのゲームが用意され、さながらミニ福祉展のように発展してきましたが、コロナ禍で本年は見送りが余儀なくされています。それでもマスク装着の散歩では立ち話もあり、育てた生花や手作りマスクをプレゼントされたりと小さな交流を重ねており 、また先月やっと再開された神社清掃には管理者が出向き、地域の一員としての責務を果たしています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は今４月から人が集まることは中止しています。資料と手紙で事業所の状況がわかるように整え、同封の返信葉書きで意見を届けてもらって議事録にまとめるという方法で代替しています。誤嚥性肺炎の資料を送付した折には、民生委員から「普段やっている早口言葉は役立っているね」と褒めてもらえ、担当職員の励みに実っています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	これまで市主催の研修会には積極的に参加しており、昨年は「介護現場におけるハラスメント対策」「摂食嚥下機能支援に関して」といった講座出席にて多くを学ぶに至っていますが、コロナ禍では研修会も中止となり、残念な状況にあります。ただし、地域包括支援センターとは電話連絡等こまめなやりとりが続いており、入居相談も入っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	これまで満喫していた外出企画がままならず、利用者のストレスもたまるため、ここ数ヶ月はお寿司やモーニングセットのテイクアウトで楽しみをつくっています。家族とは月に1度くらいは顔を合わせて話す機会をつくりたいとして利用料の手渡しをお願いしており、コロナ対応として玄関口のソファでの短時間ではあっても情報共有の時間をもつことが出来ていて、要望に応える態勢にあります。また1名ですが、嬉しいことに意見箱に投函くださる利用者もいます。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										